

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究において、「学びをつなげる主体的な学習者の育成」を目指し、授業力向上、家庭学習の充実に努めることができた。一方で、各種調査等から見えた課題も多い。次年度も、算数科を中心に据え、授業力向上、学力向上に努めていく。 学校全体として、児童は落ち着いた毎日を送ることができている。学校が組織として機能し、職員一人一人が自分の役割を果たすとともに教職員同士が協働した結果だと考える。風通しのよい職員間の雰囲気そうさせたと感じる。 保護者、地域の理解や協力のもと、体験的な学習活動を実施することができた。次年度も連携体制を維持し、教科横断的な学習を推進していく。 自然災害等時の避難や不審者対応、交通事故防止等、常時危機意識をもちレベルアップしていく必要があり、安心安全な学校運営に全職員一丸となって取り組んでいきたい。保護者、地域との連携を密にすることがより重要になってくると考える。
------------------	--

2 学校教育目標	ふるさとを愛し 共に学び 心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成
----------	-------------------------------------

3 本年度の重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 学力向上・・・（1）主体的な学習者の育成を目指して授業改善を推進し、確かな学力を身に付けさせる。 （2）学びの土台をつくり、学びを上げられるような体制づくり、習慣づくりに取り組む。 感謝と思いやりの心の育成・・・人権教育の推進、道徳教育の充実 ふるさとを愛する人づくり・・・「公」意識・規範意識の醸成、ふるさと自慢、地域学習の充実
------------	---

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○「学びをつなげる主体的な学習者の育成」を目指す校内研究(算数科)の推進 ○基礎基本の学習内容の定着に向けた取組の継続と徹底	○「算数科の授業において、問題場面を絵や図に表し、解決に向けて筋道立てて考えることができる」に肯定的な回答をする児童90% ○「漢字、音読、計算について、高まり(伸び)を感じている」に肯定的な回答をする児童90%	○問題場面を絵や図に表して正しくとらえ、条件に合う説明を書く活動を、日々の授業で継続して取り組む。 ○漢字、音読、計算について、数値目標を提示して反復学習を継続的に行う。 ※水～金曜日のスキルタイムや月曜日5校時の特設の授業で重点的に取り組む。							・研究主任 ・学力向上CO
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「自分の学校が好き、楽しい」という児童90%以上	・道徳や朝会、集会活動を中心に、豊かな心を身に付ける指導(愛校心に関する指導)を積極的に行う。 ・自分や友達の長所や学校の魅力を考える取り組みを工夫して、自尊感情を高めていく。							・心づくり部長
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめの防止等(いじめの定義、いじめの防止等のための取組、事案対応等)について組織的対応ができていると回答した教員90%以上	・毎月「なかよしアンケート」を実施し、未然防止、早期発見、早期対応に努める(話し合う時間を作る)。 ・毎月、生徒指導、教育相談会を行い、気になる児童について全職員で共通理解を図る。							・人権・同和教育担当 ・道徳教育推進リーダー
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童90%以上 ●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90%以上	・教育活動全般を通して、「出番・役割・承認」運動に積極的に取り組むことで、子供たち一人一人の自己肯定感を高める。 ・道徳や他の教科、神崎市「教育の日」週間等で、自分の夢や将来の目標を意識できる教育活動を設定する。							
●健康・体づくり	○「仁比山っ子のよい子」の徹底	○「仁比山っ子のよい子」や「神崎市四か条の誓い」をもとに立てた月目標の達成率85%以上	・月1度の生活朝会で「仁比山っ子のよい子」をもとにしたまきまりを周知徹底、評価することで児童の情操教育を行う。							・生徒指導主任
	●「望ましい生活習慣の形成」	○手洗いの習慣化とハンカチの携帯90%以上 ○「早寝早起き朝ごはん」に努めている児童80%以上	・衛生習慣の定着と意識向上をめざし、日常的に指導し、定期的に検査をする。 ・通信や学級指導などで規則正しい生活習慣の重要性について啓発する。							・養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○児童の安全意識や危機回避能力の育成	○ヘルメットの着用率、防犯ブザーの携帯率100% ○交通事故・生活事故発生件数ゼロ	・ヘルメットの着用や防犯ブザーの携帯推進について、通信等で保護者への啓発を図る。毎月チェックし、意識付け、指導を行う。 ・交通安全教室や学級で、自転車の乗り方や歩き方の指導を行う。 ・全校朝会や学級指導においてルールとマナーを周知させ、道具の適切な使い方、室内での過ごし方について継続的に指導し、安全確保に努める。							・安全教育主任
	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・業務の効率化を図り、毎日の退勤時刻を設定(退勤時刻18:30)し、毎月の時間外在校等時間の平均35時間以内を目指す。また、定時退勤日(金曜)を設定、実施する。 ・年間行事の見直し、各組織の業務の効率化を図り、年休取得のしやすい職場づくりに努める。							・教頭
●特別支援教育の充実	○信頼される教職員としての意識の向上	○「コンプライアンス意識をもち、服務規律の保持・徹底に努めている」教職員100%	・「サービスゼロの日」を月1回設定し、服務規律の保持徹底について計画的に研修を行う。 ・危機管理マニュアルの見直しと報告・連絡・相談・確認の徹底を行う。また、適宜関係機関と連携する。							・教頭
	○個の特性に応じた指導・支援の充実	○日常的に児童の様子を細かく観察し、教師間で情報共有し、協議を行う。 ○校内研修を年3回以上実施し、全体研修教師の専門性を高める。	・年2回、就学支援委員会を開き、支援・指導の現状や適切な就学先を確認する。 ・年3回以上研修を行い、児童の指導支援に生かす。							・特別支援教育CO

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○教職員の資質向上	○実践の共有、指導力の向上	○教職員の資質能力の向上に資する職員研修の実施(個人、全体年間5回以上) ○相互授業参観を学期に1回以上実施	・実践力アップのためのミニ研修会を実施する。 ・職員研修における校内講師の推進を図る。 ・相互授業参観を、教務と連携し計画的に実施する。							・教頭
○地域の特色を生かした教育の充実	◎地域資源(ひと・こと・もの)を生かした体制づくり、カリキュラムの見直し	○「仁比山のまちが好き」と肯定的に答える児童90%以上 ○各学年において1年に1回以上、地域資源を生かした学習、体験活動を行う。	・教育課程を見直し、地域資源を活用した学習(生活科、総合など)の計画・実施する。 ・地域と連携、協働し、児童がより「仁比山」のまちに親しみがもてるようにする。							・教務部

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育
----------------	---